

# 前回の第三者委員会における意見と 対応方針について

令和 7 年 3 月 6 日

**農 林 水 産 省**

# 1 令和6年度第1回多面的機能支払交付金第三者委員会における主な意見及び対応方針

R6.8.7 令和6年度 第1回委員会	御意見(抜粋)	委員名	対応方針(案)
資料2 「令和6年度の多面的機能支払交付金の分析・評価・対策について」	<p>質という場合、何をどう評価していくのかというその評価軸、あるいは、評価した場合にはAからEへのグレードとか点数とか、あるいは定性的に評価していくのか。現時点でどのような形のイメージで展開されていくのか、教えていただければと思います。</p> <p>【活動の質についての具体的な評価方針はどうするのか】</p>	岡田委員	次期対策に向け具体的に検討する。 ([資料5]で説明)
	<p>定性的に考えていくけれども、これは非常に高い評点、これは中くらいの評点みたいになったときに、その面積にそれを掛け算すれば、何か実質的な面積みたいなものに評価替えることができるような感じもする。</p> <p>(第1対策期間では、)ロジックモデルを用意されていたが、今の質という面で考えても、インプットの部分での質の高さと、アウトプットそれからアウトカムの部分での質の高さは、違う視点が必要ではないかと思う。調査しながら、解析していただければ有り難い。</p> <p>【質の高い活動をロジックモデル等と紐づけて検討してはどうか】</p>	中嶋委員長	今年度の分析の中で検討する。 ([資料5]で説明)
資料3 「多面的機能支払交付金の施策の評価(案)について」	<p>事務負担の軽減は、ころころ変えない方がいいのではないかとかというプラクティカルな問題もあるのですが、この負担の軽減を支援するような仕組み、私は常々DXを、利用者にとって優しいDX、そういうのが導入された方がいいのではないかなと感じているところ。</p> <p>【事務負担の軽減についてDX等を検討してみてもどうか】</p>	中嶋委員長	次期対策に向け具体的に検討する。